

23rd 聞き書き甲子園

森・川・海の名人たちに会い、歴史と伝統・自然のつながりを体感せよ!!



ニッポンの深層、未知の世界にダイブ!!

KIKIGAKI

【主催】聞き書き甲子園実行委員会（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク）【募金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート【協賛・協力】公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電話工業所、株式会社トンボ、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人 SOMPO 環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、一般社団法人全国過疎地域連盟、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

What is KIKIGAKI?

Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生かしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。

「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」

名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わるのです。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、 どんな変化があるの？

聞き書き甲子園は、2002年（平成14年）に始まり、参加者の累計は、2000人を超えました。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会いから、新たな一歩を踏み出しています。



視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人たちです。その職種は、樵（きこり）、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一对一で「聞き書き」します。



Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催（2019年度）より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村（地域）を毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。

【本年度の受け入れ地域】宮城県白石市／富山県氷見市／岐阜県関市／福井県池田町／京都府与謝野町／岡山県美作市／岡山県真庭市（蒜山・湯原地域）／大分県日田市（林材業地域）／長崎県東彼杵町／熊本県山都町／沖縄県国頭村



Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

MOVIE



映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映希望者には、有料で貸出いたします。また、条件によっては無料貸出も可能な約50分の短縮版もあります。

WEB



聞き書き甲子園公式ウェブサイト <https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。また、公式YouTubeチャンネルでは取材のしかたなどを学べる動画を公開しています。

聞き書き電子図書館

<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、登録が必要です（有料）。

23rd 聞き書き甲子園

参加申込書

【参加資格】高校生 【募集人数】74人 【応募〆切】2024年6月24日(月)必着

【参加条件】事前研修に参加できること。取材を行うことができること。(※)

※選考結果は7月末までに郵送で通知します。

また、聞き書き作品を期日までに提出すること。※公共交通機関を利用した長距離の移動があります。

【参加費用】無料

【応募方法】ウェブサイトからご応募ください。もしくは、参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送ください。

【表彰】農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞、ファミリーマート特別賞等

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301

聞き書き甲子園

聞き書き甲子園実行委員会事務局 (NPO法人共存の森ネットワーク内)

ウェブサイトはこちら。

TEL:03-6432-6580/E-mail:contact@kikigaki.net

<https://www.kikigaki.net>



フリガナ		生年	西暦
氏名		月日	年 月 日生(歳)
		性別	男 女
住所	〒(-)	本人携帯番号	(- -)
E-mail			※普段から使用しているEmailをご記入ください。

フリガナ			
高校名			年 組
高校所在地	〒(-)	電話番号	(- -)
フリガナ		参加者との関係	
担当教員		<input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 部活顧問 <input type="checkbox"/> その他	

※緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅 →	
自宅～東京駅、 または羽田空港まで		→ 東京駅または羽田空港

※自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)をすべてご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月12日～15日の研修参加チケットを手配します。

保護者氏名		(印) ※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。 また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。
住所	〒(-)	ご自宅電話番号 (- -) 携帯電話番号 (- -) E-mail ()

※住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。※保護者のE-mail欄に、高校生本人のE-mailは記載できません。

自己PR	
あなたの長所や経験、 特技、将来の夢などを 書いてください。	

GAKI



<https://www.kikigaki.net>

発行日：2024年5月

園子甲書き聞き

森・川・海の名人に会い、

第23回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国11の地域で暮らす名人たち。その仕事は、林業、炭やき、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントがまわっているはず。聞き



聞き書き甲子園

6月24日まで

応募する

よーし、頑張って参加申込書を書



参加
選

8月12〜15日

研修 都内・宿泊アリ

OB・OGの大学生たちが聞き書きのコツを教えてください。最初は緊張したけど全国に友達ができたよ!

名人に

アポを取る





KIKI

聞き書き壁新聞 2024

発行者：聞き書き甲子園実行委員会

取材先は全国に広がる11の地域

【2024年度の受け入れ地域】

- 宮城県白石市
- 富山県氷見市
- 岐阜県関市
- 福井県池田町
- 岡山県美作市
- 岡山県真庭市
(蒜山・湯原地域)



23r

書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？



取材をする①

取材をする②

10月



書き
録音し
全部書
ます。

12月

作品にまとめる

3月下旬

フォーラ
(成果発表)



お世話
人が、
聞きに

冊子に
なる



「聞き書
子にな
喜んでく

名人のところに
また訪ねていきたいな。

暮らししを知り、につぼんの未来に繋ぐ。

の1年

聞き書き抜粋



なんとも可愛いマツタケ

【名人】藤原儀兵衛（長野県伊那市）
【聞き手】成田和香（愛知県国際高等学校2年）

親父の大切なものと交換

自転車で業者がマツタケを買いに来てたことで、山がいきなり荒れるようになったんですよ。これは自分の山を持たなきゃだめだと思って、親父には内緒で、大事に育ててたひのき林全部と、痩せた松林を交換しちゃったの。親父はそれを知らずもんで、交換してからも一生懸命手入れしてて、その時は涙が出たね。周りの人には、頭が狂ったんじゃないかかって言われたけど、必ずマツタケは高値で売れるようになるって信じてやってたね。（中略）

仕事

マツタケをとる期間は例年で約1ヶ月間。他の11月間は、山をずつと手入れしてる。その間の山の仕事は範囲が広いの。（中略）手を入れた

を初めて増やせた時ってゆうのはね、それはもう涙が出たね。とにかく手を入れてやって、タネを蒔いてから5年たたないとでねんだで。その感動つうものは何とも言えないね。（中略）CO₂問題にも貢献してる。松の木ってゆうのはね、365日青さを維持してるもんだから。買った山には全部手を入れて、ただただ本当に大事にしてるよ。マツタケを育てながらね。

人生を彫り進める

【名人】森力（大分県日田市）
【聞き手】権藤佐和（佐賀県立鳥栖高等学校2年）

木と作品に向き合う

今年の春くらいに鷹を彫りよったんですよ。かやの木ちゆう、高級材料で日本の木じゃ一番割れやすい木を使ってね。そしたら仕上げになつてから首のところにヒビが入ってね。装飾を作ってくつ付けるとか細工しても格好良くないので、もうその鷹は捨てました。

れやすいね。だから柱目を使うとか、滅多に割れない桐の木なんかを使う。木も人間と一緒に性格があるんですよ。（中略）桐の木でも鷹を彫ったんですよ。42日掛かった。それで桐の木は3、4ヶ月位で下から黒っぽい色のアクが出てくるんよ。アク抜きは水に1週間くらい漬けるとできる。でもこのアクにはムラがあつて結構おもしろいと思うんだけどね。そういうのもあつてこの鷹は本当の鷹よりかつこいと思うよ。

伝えたいこと

どこの職場にいても、何かを習おうとする時はとても難しいんです。不安ちゆうのをね、あんま考えんではないよ。みんな考えるこつけんね。みんなはあげんこと出来よるけど、私は出来るやろうかとか、それは考へんでいい。3年過ぎたらね、不思議と覚えてくるんよ。だから辛抱は4年。（中略）人間は一生懸命やったら必ず答えが出てくる。100パーセントじゃあないかもしれないけど、そこそこやれるようになる。そして長生きせなダメやね。だんだん歳いって



起こす

た名人の言葉を
起こしていき



ム
表会)

になった地域の
東京まで発表を
来てくれた。

「書き」作品が冊
ります。名人は
くれるかな？



山からマツタケが出ると、それは本
当に可愛いんだわ。

シロの増殖に日本で初めて成功

シロ（マツタケの発生する場所）

参加者の



取材の時、名人につぐら作りを体験
させていただきました。名人のよう
にきれいに編むことはできなかつた
けれど、何度も編み直しをする中で、
何事も中途半端で終わらせてはいけ
ないという心を持つことが大切だと
学べました。（石川県Tさん）

私はちょうど進路に悩む高校三年生
の時期に、好きなこと、趣味がたく
さんあって絞れずどこにもぶつけら
れないもやがあつた。そんな私に「好
きつて最強ですよ。趣味は多けりや
多いほどうい。人生を豊かにしてく
れるのは、結局自分の好きなことだ
からね」そう助言してくださつた。
この言葉は、今の私にとって自分を
奮い立たせてくれるお守りのような
ものになっている。（神奈川県Kさん）

かはあるんですよね。木の中の中心
に近いところも割れることがあるし、
外も割れることがあるし。板目なん
かは縦に目が入つてる柾目よりも割

あるもん。

（第22回聞き書き作品集より抜粋）



集まれ、高校生。

〈募集内容〉●参加資格 高校生 ●募集人数
74人 ●参加条件 事前研修に参加できるこ
と。取材を行うことができること。（※）
また、聞き書き作品を期日までに提出する
こと。※公共交通機関を利用した長距離の
移動があります。●参加費 無料（事前研修、
取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が
負担します）●応募方
法 参加申込書と応募
動機を書いた作文（4
00字程度）を事務局
までお送りください。



聞き書き甲子園
ウェブサイトから
応募できます。

ファミリーマートは、
「夢の掛け橋募金」を通じて、
この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年
より店頭募金「ファミリーマート
夢の掛け橋募金」を通じ、こども
たちと地球に豊かな未来を残すた
めの活動をNGO/NPOと取り
組んでいます。国内ファミリ
マート全店で実施している店頭募
金は、株式会社ファミリーマート
からの企業寄付と併せて各団体へ
寄付されています。その一部が公
益社団法人国土緑化推進機構への
寄付を通じて、「聞き書き甲子園」
の活動に役立てられています。



あなたと、コンビに、

FamilyMart